

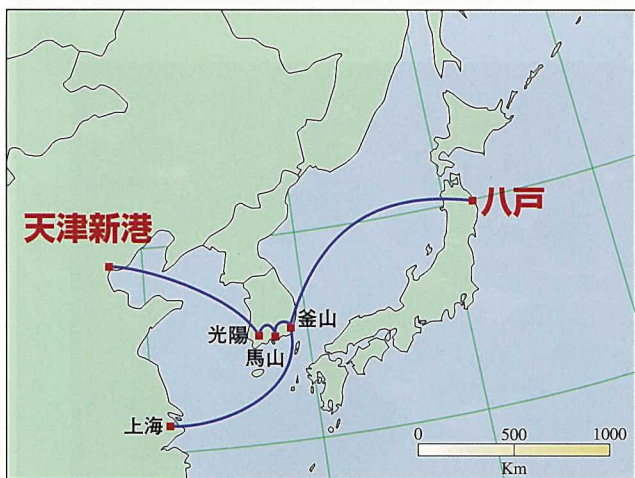
Port of Hachinohe

No. **23**
NOV 2007

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 天津新港への直接寄港開始
- 「八戸セミナー2007」開催
- イカ輸入量急増
- アメリカで県産ながいものプロモーション
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々



中国・韓国航路

平成18年 八戸港コンテナ取扱数量（中国・韓国航路）
単位：TEU

順位	貿易相手港	コンテナ取扱量
1	釜山（韓国）	1,665
2	天津新港（中国）	1,600
3	上海（中国）	1,099
4	青島（中国）	999
5	大連（中国）	670
6	バンクーバー（カナダ）	647
7	ロッテルダム（オランダ）	422
8	ハンブルグ（ドイツ）	405
9	タコマ（アメリカ）	349
10	煙台（中国）	206

天津新港への直接寄港開始

八戸港の中国・韓国航路を運航する南星海運株式会社では、7月から航路を一部変更し、天津新港（中国）、馬山（韓国）への直接寄港を開始しました。

天津市は、中国北方経済の中心都市として急速に発展しており、八戸港にとって天津新港は、中国で最もコンテナ取扱量が多い貿易相手港となっています。同港への直接寄港により、更なる貨物取扱量の増加が期待されます。

天津新港への火曜日便の他、従来通り上海に寄港する水曜日便があります。また、他の中国各港とは、自社船により釜山経由で接続していますので、是非ご利用ください。

お問い合わせ先

南星海運(株)代理店 八戸港湾運送(株)
コンテナ事業部 コンテナ営業課
〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL.0178-29-3177 FAX.0178-29-3119

中国・韓国航路 寄港地	
火曜日便	釜山～秋田～新潟～八戸～釜山～ 馬山～光陽～天津新港～釜山
水曜日便	釜山～苫小牧～八戸～仙台～ 釜山～蔚山～上海～釜山

「八戸セミナー2007」開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、7月25日に経団連会館（東京都大手町）において、八戸市及び八戸市企業誘致促進協議会との共催で、「八戸セミナー2007～産業都市「はちのへ」の魅力とポテンシャル～」を開催しました。

セミナーでは、小林 眞 八戸市長が、「地域特性」、「産業インフラ」、「自治体のバックアップ」、「人材」という4つの視点から八戸市のポテンシャル（潜在力）について、また、県の港湾担当者が、八戸港の概要とコンテナ航路や各種補助金制度など八戸港利用のメリットについて紹介し、八戸市への企業進出と八戸港の利用拡大を呼びかけました。

続いて、一橋大学大学院商学研究科教授 関 満博氏から「北東北の可能性と八戸の地域産業」と題し、ご講演をいただきました。

八戸は、工業系の教育機関が充実し、産学連携に適しており、人材立地の観点から企業進出のメリットがあるなど、八戸の可能性についてのユーモアを交えた講演は、参加者

から「とても面白かった」「ためになった」などの声が聞かれ、大変好評でした。

今回も、昨年同様約300名の皆様にご出席をいただき、盛会裏に終了することができました。



協議会会長（八戸市長）あいさつ



講師：関 満博氏



熱心に聞き入る参加者

「八戸港セミナー（弘前・青森）」開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、8月28日、29日の両日、それぞれ弘前プラザホテル（弘前市）、青森国際ホテル（青森市）において「八戸港セミナー」を開催し、青森県及び秋田県北の企業の皆様に、八戸港をPRしました。

今回のセミナーでは、八戸港の紹介の他、日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部アジア大洋州課長 伊藤亮一氏をお迎えし、「東南アジアの現状とビジネスチャンス」と題してご講演いただきました。

同氏から、日本企業は海外で儲ける割合を高めており、進出先として、特にアジアのベトナム・インドが注目されている。また、日本は、少子高齢化による労働人口の減少という課題を抱え、地方の企業にもアジアの労働力を活用したビジネスは魅力があることなど、東南アジアとのビジネスに役立つお話を聞くことができました。

セミナー後の情報交換会では、講師を交えて活発な情報

交換が行われました。

今回のセミナーが、参加された企業の皆様のお役に立ち、八戸港の利用拡大に繋がることを期待しています。



講師：伊藤 亮一氏

イカ輸入量急増

イカの水揚げ日本一を誇る八戸港で、コンテナでのイカの輸入量が急増しています。

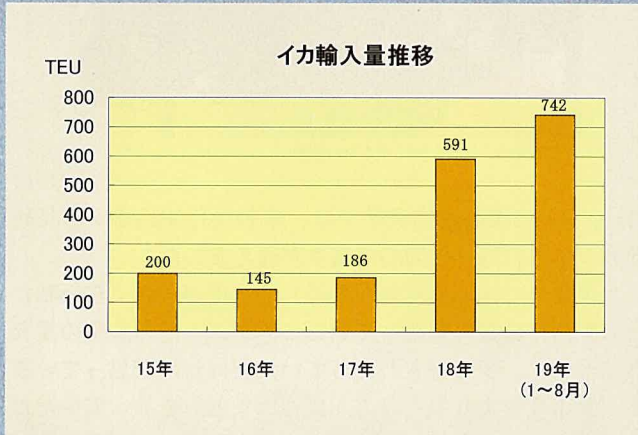
昨年は、対前年比318%の591TEU、今年は8月までで742TEUと、既に昨年を上回っています。

その背景には、アルゼンチンやペルー海域で漁獲されるイカの水揚げ量の減少があります。

これは、イカ釣り漁船の減船や、アルゼンチンとの漁業交渉の不調によるものです。

八戸では、加工原料として、これらの海域で漁獲されるイカの需要が高く、輸入で不足を補う形になっています。

今後もこの傾向は続きそうです。



輸入されたイカ

南星海運(株) ハイフォンへのサービス開始

南星海運株式会社では、9月からベトナムのハイフォンへのサービスを開始しました。

ハイフォンは、人口約180万人のベトナム第3の都市であり、首都ハノイの東100kmに位置する北部最大の港湾都市です。

ベトナムは、昨年のGDP成長率が8.2%と、東南アジアの中でも急速に経済成長しており、日本との貿易も拡大しています。

八戸港とは釜山経由となりますが、是非、ベトナムとのビジネスに同サービスをご活用ください。

お問い合わせ先

南星海運(株)代理店 八戸港湾運送(株)
コンテナ事業部 コンテナ営業課
〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL 0178-29-3177 FAX 0178-29-3119

「飛鳥II」八戸港初入港

9月15日、日本最大の客船「飛鳥II」が八戸港八太郎1号ふ頭に初入港しました。八戸港への客船の入港は平成15年10月以来、4年ぶりとなりました。

「飛鳥II」は、それまで運行されていた「飛鳥」に代わり昨年3月にデビューし、400の客室に加え、レストラン、ラウンジやスポーツ、リラクゼーション施設等が更に充実しています。

今回のクルーズは、八戸信用金庫が創立85周年記念として企画したものです。出航セレモニーの後、721名の参加者を乗せた船は、多くの人に見送られる中、横浜港へ向け出航しました。



出航の様子

	飛鳥II	飛鳥
全長・全幅	241m×29.6m	193m×24.7m
総トン数	50,142 t	28,856 t
販売客室数	400室	296室
航海速力	最高23ノット	最高21ノット

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL : 0178-43-2111内線338
FAX : 0178-24-6186

「みなとPRパネル展」開催

八戸の海の祭典「夏!!海フェスタ'07」が、7月8日(日)、29日(日)、8月5日(日)の3日間にわたり、種差、蕪島、館鼻の各エリアで開催されました。八戸港湾・空港整備事務所では、7月29日と8月5日の2日間にわたり、館鼻漁港で「みなとPRパネル展」を行いました。また、8月5日には、当事務所所有の監督測量船「ほくと」による八戸港港内見学も合わせて行いました。

「みなとPRパネル展」では、八戸港の歴史や港の役割等を、パネルの他、地震時に発生することが多い液状化現象のミニ実験や、防波堤が津波の威力を低減させる効果を、実験装置を使って実際に目で見てもらうなど、わかりやすく紹介しました。

両日共に多くの方が訪れ、パネルや模型、ミニ実験装置等について多くの質問がありました。また、監督測量船



監督測量船「ほくと」による港内見学

「ほくと」による港内見学では、乗船受付開始前から長蛇の列ができ、港への関心の高さが伺えました。

当事務所では、イベントを通して、港がどれくらい私たちの生活に密接に関わっているか、また、港の整備の重要性について、少しでもわかっていただければと思っています。来年度もより多くの方々に「みなと」を知っていただくために、尚一層イベント内容に工夫を凝らして実施していきます。



パネル展の様子

お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
八戸港湾・空港整備事務所 企画調整課
TEL 0178-22-9397 FAX 0178-24-9063

八戸港貿易センター入居テナント募集！

株式会社八戸港貿易センターでは、賃貸オフィスへの入居テナントを募集しています。貸室は、冷暖房、OAフロア完備で、駐車場は無料となっております。貿易関連企業に対しては、八戸市からの家賃補助制度も適用されますので、是非ご利用ください。



八戸港貿易センター

●建物概要

所在地：青森県八戸市豊洲3番地9（八戸港ポートアイランド）

構造：鉄筋鉄骨コンクリート造り地上4階（貸室は2階～4階）

●入居費用（消費税込み）

賃料：2,310円/m²

共益費：808円/m²

敷金：賃料月額3か月分

●貸室タイプ（空室状況はお問合せください）

33.7m²（約10坪）…2階

67.5m²（約20坪）…2階、4階

168.7m²（約50坪）…3階

お問い合わせ先

(株)八戸港貿易センター
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503
メール：mail@hptc.co.jp

アメリカでの県産ながいものプロモーション

青森県農林水産物輸出促進協議会では、6月28日から7月3日にかけて、アメリカ南部のダラスとニューヨークでながいもの試食宣伝会を行い、多くのお客様で賑わいました。

訪米メンバーは、自称「県産ながいものエキスパート」のJA全農あおもり、JA十和田市、JAしんせい五戸、(株)ファーストインターナショナル、県農産園芸課、そして総合販売戦略課の総勢6名でした。

現在、アメリカは、台湾以上の輸出相手国として、北海道産ながいものとシェア獲得でしのぎを削っている状況にあり、県産ながいものブランド定着と販路拡大・確立が急務となっています。

今回の試食宣伝会では、消費者の関心が非常に高く、調



シェフ向け雑誌編集者へのながいもの売り込み

理法の提案や効能のPRによって一層の販路拡大の可能性が伺えました。また、レストランシェフ及びシェフ向け雑誌に対する売り込みでは、ながいものジュースやバター焼きが大変好評で、具体的な商談が進む見込みとなりました。

これらのことから、JA全農あおもりでは、年間750トンを目標にアメリカ向け輸出を促進することとしており、県では、今年度配置した輸出促進連絡員の活動などを通じて、関係団体と連携した効率的なアメリカ向け輸出拡大対策を進めていく予定です。



ダラス アジア・ワールド・スーパーでの試食宣伝会

お問い合わせ先

青森県 農林水産部 総合販売戦略課
宣伝・販売グループ

TEL:017-734-9607 FAX:017-734-8158

「八戸みなと探検隊」開催

8月9日、「八戸みなとづくり振興連絡会」では、「八戸みなと探検隊」を実施しました。八戸港の未知の部分を探検する企画で、八戸市内の親子7組（計19名）が参加しました。

この企画は、SOLAS条約の改正に伴い保安対策が強化されたことで、八戸港でも立ち入りを制限される区域が多くなっていることから、「みなと」を身近に感じて貰い、役割について理解を深めていただくことが目的です。

午前中は、国土交通省八戸港湾・空港整備事務所の監督測量船「ほくと」に乗って港内を一周し、漁船や貨物船、港湾工事のための作業船など様々な船を見ることができました。

午後は、普段立入ることが出来ないコンテナヤードで、ストラドルキャリアやガントリークレーンが実際にコンテナを荷役する様子などを見学しました。

その後、東北東京鐵鋼(株)の自動車や家電製品のリサイクル工場へ移動し、リサイクルポート八戸港の新たな役割についても学びました。



コンテナヤードでの見学

*八戸みなとづくり振興連絡会は、国土交通省八戸港湾・空港整備事務所、青森県、八戸市で構成する団体です。

*SOLAS条約=海上における人命の安全のための国際条約

お問い合わせ先

八戸みなとづくり振興連絡会 事務局
八戸市建設部港湾河川課

TEL:0178-43-2111内線338 FAX:0178-24-6186

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成19年11月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308・609）までご連絡ください。

REPORT1

香港レポート



佐藤 正博 さん

八戸市のみなさん、こんにちは。今回は香港での生活を、私が2年半生活した範囲の中で、感じたことや見聞きしたことを書いてみたいと思います。

もしかしたらまとまりのない話になるかもしれませんが、予めお詫びを申し上げます。

まずは交通機関の話から。

香港の交通機関はタクシーを除いて、ほとんどがオクトバスというカードを使って支払いができるシステムになっています。東京や大阪などにもそういうカードがありますが、もっと便利なカードです。近々合併することになっている、KCR（地上を走っている鉄道）とMTR（地下鉄）の二つの鉄道会社があるのですが、支払いは両方ともオクトバスでOKです。そして数社あるバス会社でも使えます。香港市内を縦横無尽に走っているミニバスでも使えます。実はこれだけではありません。コンビニやスーパーなど買い物にも使えるのです。隣の深セン（土へんに川）市にも、地下鉄があるのですが、独自のカードがあるようです。

次にタクシーですが、もちろんカード払いはできません。でも安いです。初乗りが赤タクシーの場合15ドルで、日本円にすると230円くらいといったところ。そしてタクシーの多さにも驚きます。なかなかつかまらないということは減多にありません。タクシーの色は場所によって決められており、香港島と九龍サイドは赤、新界（深センよりの場所）は緑、国際空港があるランタオ島は水色となっています。ちなみに深センは薄緑を基調とした色になっており、マカオは黒です。

交通機関に関しては不便だと感じたことはまったくありません。

次に買い物事情について。

香港にもたくさんのスーパーマーケットがあり、コンビニエンスストアもかなりの多さです。スーパーマーケットは現地系のものから欧米系のもの、そして日系のスーパーがかなり幅を利かせています。日系はジャスコ、SOGOなどです。従って日本食にも不自由することはあまりありません。SOGOは1ヶ所だけですが、ジャスコは数えたことがありませんが10店舗くらいはあると思います。ジャスコは100円ショップならぬ、10ドル（香港ドル）ショップの店を現在どんどん増やしている段階です。考えてみれば、10ドルショップは150円くらいになってしまうの

で高いといえば高いのですが、香港ではどうしても手に入りにくいものとか、スーパーでは日本製のものがかなり高いということもあり、私はよく利用しています。もっとも現地系の店に行くともっと安く手に入る場合もあります。

コンビニはサークルK（こちらではOKと言っています。）とセブンイレブンだけですが、ものすごい数です。駅には必ずあります。街中でも、100mと歩かないうちに、別のコンビニが見つかります。日本のコンビニほど何でも揃っているわけではありませんが、たいへん便利です。

もう少し安いものとかを手に入れる場合など、やはり現地系の店をどんどん見て回ることが大切になってきます。日本と同じくらいの値段の店が数多くある中で、一方で考えられない値段の安さで物を売っている現地系の店もたくさんあります。そして、それに驚いていると、深センに行ったとき、更に物価の安いことに驚いてしまいます。これはレストランなども同じです。

次に市場（街市＝ガイシと読みます）についてですが、ほとんどの場合、広東語だけのやりとりですので、見学はできても、実際に毎回買い物をするとなると、それなりのコミュニケーションが必要になってきます。私も数度チャレンジしましたが、思うように言葉が伝わらないとか、相手の言葉がわからないとかで、結局はスーパーマーケットの方を多く利用していますが、主婦の方で、けっこう街市で買い物される方もいるようです。スーパーよりも安く購入できるし、欲しい分だけ買うことができます。

ただし、衛生面などの問題が香港でも賑わっており、野菜もしっかり洗わないといけないし、魚介類、肉類などもしっかりと見極めないといけない部分もあるようです。そうなるとやはりスーパーで、しかもオーガニックのものを買うほうが、高いけど安心だと言える部分もあるわけです。ちなみにしばらく香港で暮らしていると、多少はこちらの水にも慣れ、何を食べても大丈夫になる人が多いのですが、私たち夫婦も、最初の半年は食べものによってはお腹をこわすということが時々ありました。

この街市は、香港政府の政策により、1ヶ所に、しかも建物の中に集められたもので、市場ばかりでなく、現地系のレストランもあります。



香港の市場（街市）の様子

しかも、図書館や体育館までついているところがほとんどです。私は1週間に1度、どこかの街市の体育館でバドミントンをしています。そして、どこの街に行っても、このような街市の建物があります。

買い物事情について、最後に、巨大なショッピングセンターについて書きたいと思います。八戸市にも郊外型のショッピングセンターがいくつかありますが、ここ香港にもたくさんのショッピングセンターがあります。

パシフィックプレイス、ハーバーシティ、タイムズスクエアなど都市型のもの、フェスティバルウォーク、apm、メガボックスなどの郊外型のもの、そしてより庶民的で地域密着型のもの、などがあります。ほとんどが巨大であり、特にハーバーシティと沙田（シャティン）のショッピングセンターは、八戸市に隣接するおいらせ町のショッピングセンター（1.89ha）よりもおそらく広い敷地面積を有しています。

最後に

香港、もしくはその周辺は、これからも開発の計画が目白押しです。香港の主な繁華街（モンコック、ホンナム、西九龍など）を整備しなおすとか、香港とその周辺を結ぶ連絡橋の建設とか、更には将来を見越しての大都市づくり（香港と深センを中心に）は、ニューヨーク、東京に次ぐ大都市圏になると言われています。そしてそれらは近い将来に実現していくものだと思います。そんなところを見ても、香港、もしくはその周辺のバイタリティに、ただただ驚くばかりです。

それは日常の何気ないところからも感じるわけで、スーパーに行っても、コンビニに行っても、レストランに行っても、雑貨屋さんに行っても、少しでも多くものを買わせよう、食べさせようという気迫が見られます。ある意味、どんな仕事でも自分の仕事に誇りを持っている様な気がします。そして香港人は日本人以上に働く人もたくさんいます。たくさん働きながらも、勤務後の時間や週末などの時間を大切にしているような気がします。スポーツしたり、仲間楽しく食事したり、そして何よりも家族を大切にしている人が多いです。

日本の一地方都市がこれから成長していくために、一つのお手本のようなものが香港にはあるのではないかと、私は感じています。しかしそれは真似をすることではなく、日本には日本のすばらしい伝統があり、誇りがあり、それを維持し、取り戻しながらも、活気ある地域づくりができればと思います。

かつて一教員で、現在専業主夫である私が、このような大それたことを言って申し訳ありませんが、素直な気持ちを述べただけですので、ご了承ください。



香港の高層ビル

REPORT2

マニラレポート



アンデス スミトロニクス インクス
工場長
細川 進さん

八戸市民の皆様こんにちは。フィリピンマニラ協力員の細川です。

今回のレポートに関しては、フィリピンを訪れる外国人のランキングについてご報告致します。突然ではございますが、皆様はどこの国の人からの訪比が一番多いと思いますか？お仕事・趣味の関係から業種や観光・特産を想像して考えてみてください。

また、フィリピンと言えばセブのリゾートや旧日本軍の財宝等が浮んで来る方も多いと思いますが、2005年度までは、

1位：アメリカ 2位：中国 3位：日本 4位：韓国

となっており、2位～3位が僅差で毎年入れ替わっているような感じでした。

しかしながら今日では

1位：韓国 2位：アメリカ 3位：中国 4位：日本

といったようなランキングとなっております。私も専門家ではありませんのでこちらでの新聞や各種情報誌を通じて知ったものですが、やはり常用語にフィリピン語と英語が用いられていることと、美しい自然環境の存在だと感じております。

皆様も身近な関心事としてプロスポーツ選手の海外での活躍、勝利インタビューには英語やその国の母国語で受け答えしておりますよね？私は『非常にかっこいいなあ』と感じます。

そんな当地の利点を十分に生かしたビジネスが今、展開され始めております。（注目もされています。）

- 1) 近隣諸国からの長期滞在英語教育（家族帯同海外留学）
- 2) 海外派遣看護師育成学校 などです。

訪比者の存在で町並みもここ数年大分変化しております。商店街や観光地への道中看板は母国語・英語表記が中心でしたが、最近は韓国語表記も目立ちますし、テレビコマーシャルも多くなっております。日本で韓流が取り出されるように、当地もそのような現象になるのでは感じております。

このような新たなビジネスに連動すべく、八戸（青森）の特産品や輸出入展開活動に微力ながらご協力していきますので、宜しくお願い致します。



韓国語表記の看板

八戸港の貿易概況報告（平成19年1月～8月）

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構（JETRO）八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額では、鉄鋼製品・電気機器が不調であったが、船舶・フェロニッケル・飼料などの好調により増加（前年比170.7%）。主な仕向国として、韓国・台湾・中国などが挙げられる。輸入額では、飼料・木材・一般機械が不調であったが、鉛鉱・ニッケル鉱・その他穀物などの好調により増加（前年比122.8%）。主な仕出国として、アメリカ・フィリピン・中国などが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に輸出・輸入ともに前年度比98.6%と微減。

■平成19年1月～8月の貿易額（単位：千円）

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計
 （八戸港・むつ小川原港・久慈港）から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	3	10,100,000	150.0%	269.6%
フェロニッケル	MT	73,414	62,449,799	86.3%	203.6%
有機化学品	KG	826,820	278,713	72.3%	74.2%
紙 製 品	MT	1,355	124,544	75.3%	77.3%
一 般 機 械			14,412,062		92.6%
鉄 鋼 製 品	MT	155	83,603	10.8%	21.0%
飼 料	MT	5,600	347,135	129.9%	143.5%
魚 介 類	MT	8,801	1,167,945	118.6%	139.5%
鉄 鋼 く ず	KG	26,713,003	1,260,850	81.5%	126.0%
電 気 機 器			48,281		48.4%
そ の 他	—		2,436,464		204.6%
合 計	—		92,709,396		170.7%

●コンテナ貨物通関額（ ）内は対前年比

輸 出	522億8757万円（151.9%）
輸 入	148億0316万円（54.5%）
合 計	670億9073万円（108.9%）

●コンテナ貨物通関本数（ ）内は対前年比

輸 出	4,916TEU（96.0%）
輸 入	8,964TEU（100.1%）
合 計	13,880TEU（98.6%）

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	544,460	11,413,803	102.9%	116.1%
とうもろこし	MT	574,482	15,849,572	100.3%	164.8%
ニッケル鉱	MT	1,579,194	25,934,911	100.5%	207.3%
木 材	CM	31,514	1,043,259	62.6%	76.1%
亜鉛鉱	MT	57,643	8,394,629	60.8%	82.9%
亜鉛さい	MT	10,998	1,606,464	65.7%	82.8%
大豆粕	MT	165,656	6,266,454	95.7%	113.1%
魚 介 類	MT	13,025	3,722,153	182.8%	132.3%
飼 料	MT	23,542	787,621	70.2%	69.8%
石 炭	MT	599,457	5,843,080	118.0%	141.0%
こうりゃん	MT	99,444	2,757,528	90.1%	142.4%
ウッドパルプ	MT	17,431	1,493,409	161.2%	204.6%
カオリン	MT	71,224	1,872,494	72.6%	77.9%
肥 料	MT	11,145	338,928	97.6%	116.1%
コークス等	MT	47,107	1,464,876	58.0%	77.1%
鉛 鉱	MT	26,874	4,268,266	497.2%	1644.0%
金 属 製 品	MT	4,344	1,071,871	139.1%	97.8%
その他穀物	MT	7,171	183,064	160.1%	258.2%
糖 蜜	MT	4,887	75,886	106.7%	97.1%
一 般 機 械			1,382,398		75.6%
そ の 他	—		20,454,095		81.7%
合 計	—		116,224,761		122.8%

増加する 国際的詐欺事件 - ジェトロからの注意喚起

日本貿易振興機構（JETRO）
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

ジェトロに寄せられる、国際詐欺に関わる相談が増加しています。

アフリカやアジア、欧州など、世界各地に拠点を持つ国際詐欺グループが、前渡し金や商品の詐取をねらい、日本を含む世界各国の法人・個人にアプローチを繰り返しています。

ジェトロでは2002年以降、国際詐欺の疑いのあるお問い合わせやご相談事例を集計してきましたが、2006年末までに累計で196件に達し、年を追って増加しています。この間、実際に被害が発生した事例は47件（24%）に上り、被害総額は金額が確認できたものだけで6億円を超えています。

インターネットや電子メールなど、ITツールは私たちの日常生活にすっかり定着しました。しかし同様のことは、犯行グループにも当てはまります。新たな手段や技術を駆使して、法人

関係者のみならず、最近では一般市民の皆様にも詐欺の魔手が伸び、被害発生リスクをより広範なものとしています。

国際ビジネスに携わる方々のみならず、国民の皆様のご生活を守るためにも、ジェトロでは改めて国際詐欺の手口や取るべき対応、関連情報を取りまとめ、注意喚起として広くご案内する次第です。

なお、詐欺が疑われる海外からの引合いや巨額の儲け話が舞い込んだ際には、先方と話を進める前に、まずジェトロにご相談いただくことをお勧めします。

※詐欺の代表的な手口などについては、下記のジェトロホームページよりご確認ください。

www.jetro.go.jp

八戸港の物流を支える人々

八戸港は、昭和26年の重要港湾の指定、昭和39年に八戸市が「新産業都市」に指定されたのを契機として商港、工業港としても飛躍的な発展を遂げています。八戸港の物流を支える各組織とその役割をご紹介します。第二回目として、船舶の安全な入出港に欠かせないタグボートを運航する東日本タグボート株式会社についてご紹介いたします。



社屋

東日本タグボート株式会社は、八戸港とその近隣港での曳船事業を目的として、昭和48年3月に創立されました。当初は、わずか2隻のタグボートで業務を開始いたしましたが、八戸港の発展とともに業務が拡大いたしました。平成10年10月には八戸港ポートアイランドに本社社屋を新築し、現在、タグボート5隻を運航して、作業の効率化とサービスの向上に努めております。

当社は基地港である八戸港において、ニッケル、チップ、飼料、石炭、亜鉛などの大型の原料運搬船や、コンテナ船などの接離岸支援作業を主として行っています。近隣港であるむつ小川原港においては、原燃輸送船や国家石油備蓄の原油タンカーの入出港支援作業、関根浜港においては海洋地球観測船「みらい」の入出港支援作業、その他青森港、久慈港、宮古港、釜石港などでも外航船の入出港支援作業を行っております。また、ケーソン、FD（フローティング・ドック）、起重機船などの曳航や港外における海洋調査船の警戒作業、流出油処理作業、海難救助などの海上防災業務も行っております。

ここでタグボートをあまりご存じない方のために、その特性について少しご説明させていただきます。

特性の第一として「船体の大きさに比べて馬力が大きい」ということがあります。

当社のタグボートは、5隻ともほぼ3,200馬力ですが、これは4,000トンから5,000トン位の貨物船の馬力に匹敵します。普通乗用車では約180馬力、大きさ



石灰石専用船入港作業

がタグボートと同じくらいのクルーザーや漁船では30~120馬力ですので、このことからタグボートの馬力がいかに大きいかが、お分かりいただけるかと思えます。

次に「普通の船に比べて小回りがきく」とことがあります。普通の船はプロペラが固定されているので、前と後ろにしか動かせませんが、タグボートには直径約2メートルの大きなプロペラ

が2個装備されており、しかもそれを左右別々に360度旋回できますので、前後はもちろん、横にも斜め前や斜め後ろにも進むことができます。

タグボートは以上のような特性により、何倍も大きく重い貨物船でも、スムーズに接岸させたり港内を誘導することができるのです。

最後に、タグボートのマストの色についてですが、港内で当社のタグボートの鮮やかなオレンジ色のマストはとても目を引きます。このマストの色は、船会社の系列によって色分けされており、日本郵船株式会社系列はオレンジ、商船三井株式会社系列は白、川崎汽船株式会社系列はグレイです。皆さんが八戸港以外の港でタグボートをご覧になる機会がありましたら、ぜひマストの色にも注意してご覧ください。



石灰石専用船入港作業

以上、簡単に当社のタグボートの作業とその特性についてご説明させていただきました。今後とも、当社とオレンジ色のマストの小さなタグボートをよろしくお願いいたします。



放水テスト (12,000ℓ/分)

お問い合わせ先

東日本タグボート株式会社

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3番地11

TEL :0178-71-1511 FAX:0178-43-1353

E-mail:tugboat@hi-net.ne.jp

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、馬山、光陽、蔚山)、中国(上海、天津新港) [接続地] 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL : Pacific International Lines (Singapore) WSL : Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	7	8
青島(中国)	6	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	6	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	10	11
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	18	17
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	19
ホーチミン(ベトナム)	18	16
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	23	24
オークランド(ニュージーランド)	30	32
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	34	36
ロッテルダム(オランダ)	33	36
アントワープ(ベルギー)	37	34

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運送株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内

TEL: 0178-43-2111(内線308・609) FAX: 0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL: 0178-72-1505 FAX: 0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp



登録商標/100%純粋な産物を使用しています。



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 貿易の代金決済はどうするの?

A 遠く離れた海外との取引では、代金決済を確実にすることは非常に重要です。決済の方法としては、次の二つが代表的な方法です。

1. T/T決済(Telegraphic Transfer Remittance: 電信送金)

国内取引でよく使われる「振込」にあたるもので、銀行を利用してお金を送ります。メリットとしては、手続きが簡単で、コストが安く済む点です。ただし、輸入者の送金が遅れる場合など、代金回収リスクが比較的高いというデメリットがあります。

2. L/C決済(Letter of Credit: 信用状)

荷為替信用状と呼ばれる書類を使って、輸入者・輸出者に代わってそれぞれの取引銀行が決済を行います。輸入者は、あらかじめ取引銀行に申し込んで与信調査を受け、輸入契約の内容に沿ってL/C(信用状)の発行を依頼します。輸出者はL/Cを受け取ってから実際の輸出作業に入り、L/Cと船積み書類を輸出者の取引銀行に買い取ってもらい、ここからL/Cを発行した銀行に支払いを求めます。支払いが済まなければ船積み書類は輸入者に渡らず、貨物の受取ができませんので、代金回収リスクは低くなります。

編集後記

今回、天津新港への直接寄港の記事をご紹介しましたが、皆さんは天津と聞いて何を思い浮かべますか? 私は、真っ先に甘栗を思い浮かべます。

日本では、天津甘栗として認知されていますが、この呼称は日本だけのようです。

中国では、栗を熟した小石の中で砂糖をかけながら煎って作られることから、「糖炒栗子(タンチャオリーズ)」と呼ばれています。

天津甘栗と呼ばれるようになったのは、主に天津周辺の河北省で収穫される栗が、天津の港から出荷された事が始まりと言われてます。

実は、八戸港にも天津新港から甘栗が輸入されています。もしかしたら、皆さんが口に入っている甘栗は、八戸港に荷揚げされたものかもしれませんね。